

2023(令和 5)年度
事業計画書

社会福祉法人 啓真会
大友中央保育園

もくじ

1. 事業運営と基本方針
 - (1) 2023年度の保育所入園予定児童数と定員
 - (2) 職員の配置について

2. 年間行事について

3. 施設設備について
 - (1) 園舎の現状と修繕

4. 指導計画
 - (1) 全体的な計画
 - (2) 避難訓練年間計画
 - (3) 防災計画
 - (4) 不審者対応防犯訓練年間指導計画
 - (5) 食育計画
 - (6) 体力づくり年間計画
 - (7) 年間保健計画
 - (8) 交通安全年間指導計画

1. 事業運営と基本方針

(1)2023 年度の保育所入園予定児童数と定員

入園児童数		(令和 5 年 3 月 1 日現在)	
入所年齢	2023 年 3 月 1 日現在	2023 年 4 月 1 日予定数	摘 要
	定員 60 名	定員 50 名	
0 歳児	7 名	4 名	
1 歳児	5 名	8 名	
2 歳児	8 名	5 名	
3 歳児	11 名	9 名	
4 歳児	8 名	11 名	
5 歳児	3 名	8 名	
合 計	42 名	45 名	

定員を 50 名に変更し、入所率の向上に努める。

未満児の枠に空きがみられるので、年度途中には定員を満たせる見込み。

昨年度に引き続き、SNS や保育園バスを利用して知名度を広めていきたい。

(2)職員の配置について

保育士（最低基準）

	在所児 童 数 (人)	児 童 対 ず る必要数(最 低基準)	必要人員	現員 (人)	うち 常 勤 保 育 士	うち 非 常 勤 保 育 士
0 歳児	4	3:1	1.3	2	2	0
1 歳児	8	6:1 (3:1)	2.6	2	2	0
2 歳児	5	6:1	0.8	1	1	0
3 歳児	9	20:1	0.4	1	1	0
4・5 歳児	19	30:1	0.6	1	1	0
フリー	90 人以下 1 名加配分		1	1	1	0
	保育標準時間対応(常)		1	1	1	0
	保育標準時間対応(非)		1	1	0	1(無資格)
障害児加配			1	1	0	1(無資格)
計	45		8.5	11	9	2
専任加算をとる場合の主任保育士			1	1	1	0
合計				12	10	2

その他の職員

職種	必要人員（人）	現員（人）
所長（園長）	所長設置単価を適用 1 人	1
嘱託医	内科医	1
	歯科医	1
調理員	定員 4 0 人以下 1 人	2
	定員 4 1 人以上 1 5 0 人以下 2 人	
	定員 1 5 1 人以上 3 人	
看護師または准看護師	乳児 9 人以上の場合 1 人	0
保育業務の補助者（無資格）		2
雇上費加算をとる場合の事務職員	1 人	1
その他職員		1
育児休暇中		2

2. 年間行事について

※別冊「保育園の案内 年間行事予定一覧表」参照

3. 施設設備について

(1) 園舎の現状と修繕箇所

- ・年長保育室のボイラー吹き出し口から温風が出ないため、エアコンとオイルヒーターを使用している。
- ・2階トイレの天井から水漏れがあり本間組にみてもらったところ、屋上の亀裂からの雨漏りが原因ではないかということで、屋上の亀裂を簡易的に修繕。上の屋上部分は 10 年以上人があがることなく、防水も亀裂が入っているので、防水工事が必要になる。
- ・調理室の蛇口を手回し式からフック式に取り替え。
- ・乳児室内の手洗い場の撤去。

令和 4 年度県広域社会福祉施設整備助成計画にて内定をいただいているので、令和 5 年度に助成金を使用して整備予定。

4. 年間指導計画

- (1) 全体的な計画
- (2) 避難訓練年間計画
- (3) 防災計画
- (4) 不審者対応防犯訓練年間指導計画
- (5) 食育計画
- (6) 体力づくり年間計画
- (7) 年間保健計画
- (8) 交通安全年間指導計画

施設名 大友中央保育園

全体的な計画

2023年度

保育理念		保育方針		地域交流と説明責任		個人情報の保護と苦情解決							
<p>◆入所する子どもの健康を考慮し、業種及び給食を一時的に行う。◆家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支障及び地域の子育て環境に対する支援等を行う。◆倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって、子どもの保護者に対する活動に関する指導を行う。</p> <p>◆子どもが安心感と信頼感を持って活動できるように子どもへの思いや願いを適切に伝達し、子どもと保護者との関係性を大切にしながら、安全で子どもと信頼関係を築けるよう保育すること。◆子どもと保護者との関係性を大切にしながら、安全で子どもと信頼関係を築けるよう保育すること。◆子どもと保護者との関係性を大切にしながら、安全で子どもと信頼関係を築けるよう保育すること。</p>		<p>●健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと(朝に行けること)◆人の関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てることに、自主、自立及び臨時的な監督を養い、道徳性の芽生えを培うこと。(人との関わり)◆生命、自然及び社会的事象についての興味や好奇心を育て、それらに対する豊かな好奇心や思考力の芽生えを培うこと。◆言葉への興味や関心を育て、話し合いの楽しさを体験し、相手の話を聴くこと、言葉の豊かな表現をすること、(話を聞く、発音すること)◆様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを培うこと。</p>		<p>●保護、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと(朝に行けること)◆人の関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てることに、自主、自立及び臨時的な監督を養い、道徳性の芽生えを培うこと。(人との関わり)◆生命、自然及び社会的事象についての興味や好奇心を育て、それらに対する豊かな好奇心や思考力の芽生えを培うこと。◆言葉への興味や関心を育て、話し合いの楽しさを体験し、相手の話を聴くこと、言葉の豊かな表現をすること、(話を聞く、発音すること)◆様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを培うこと。</p>		<p>●保護、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと(朝に行けること)◆人の関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てることに、自主、自立及び臨時的な監督を養い、道徳性の芽生えを培うこと。(人との関わり)◆生命、自然及び社会的事象についての興味や好奇心を育て、それらに対する豊かな好奇心や思考力の芽生えを培うこと。◆言葉への興味や関心を育て、話し合いの楽しさを体験し、相手の話を聴くこと、言葉の豊かな表現をすること、(話を聞く、発音すること)◆様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを培うこと。</p>							
<p>保育所での保育の社会的責任</p>		<p>次世代育成支援(中学生体験活動の受け入れ)、世代間交流(親子三世代ふれあい会への参加)、地域交流を通して、保育園での1日の過ごし方、年間行事、保育方針、職員の仕事の役割や役割分担、保護者への広域など必要情報交換については、関係者の承認を得る。苦情があった場合、苦情解決責任者のもと、担当者を決め受け付けから解決までの手続きを明確にする。苦情を通して自らの保育を課題に振り返り、課題に対応していく。</p>		<p>●保護、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと(朝に行けること)◆人の関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てることに、自主、自立及び臨時的な監督を養い、道徳性の芽生えを培うこと。(人との関わり)◆生命、自然及び社会的事象についての興味や好奇心を育て、それらに対する豊かな好奇心や思考力の芽生えを培うこと。◆言葉への興味や関心を育て、話し合いの楽しさを体験し、相手の話を聴くこと、言葉の豊かな表現をすること、(話を聞く、発音すること)◆様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを培うこと。</p>		<p>●保護、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと(朝に行けること)◆人の関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てることに、自主、自立及び臨時的な監督を養い、道徳性の芽生えを培うこと。(人との関わり)◆生命、自然及び社会的事象についての興味や好奇心を育て、それらに対する豊かな好奇心や思考力の芽生えを培うこと。◆言葉への興味や関心を育て、話し合いの楽しさを体験し、相手の話を聴くこと、言葉の豊かな表現をすること、(話を聞く、発音すること)◆様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを培うこと。</p>							
<p>発達過程とクラス間の関係性</p>		<p>5つの年齢別(0・1歳児、3・4歳児合同の保育室)年齢にて保育園生活を送るが、前庭条件として保育方針の8割の発達段階を考慮して指導計画が作成されている。また、一人一人の子どもの成長段階を踏まえ上級上の子育て支援情報の提供を行う。</p>		<p>●保護、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと(朝に行けること)◆人の関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てることに、自主、自立及び臨時的な監督を養い、道徳性の芽生えを培うこと。(人との関わり)◆生命、自然及び社会的事象についての興味や好奇心を育て、それらに対する豊かな好奇心や思考力の芽生えを培うこと。◆言葉への興味や関心を育て、話し合いの楽しさを体験し、相手の話を聴くこと、言葉の豊かな表現をすること、(話を聞く、発音すること)◆様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを培うこと。</p>		<p>●保護、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと(朝に行けること)◆人の関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てることに、自主、自立及び臨時的な監督を養い、道徳性の芽生えを培うこと。(人との関わり)◆生命、自然及び社会的事象についての興味や好奇心を育て、それらに対する豊かな好奇心や思考力の芽生えを培うこと。◆言葉への興味や関心を育て、話し合いの楽しさを体験し、相手の話を聴くこと、言葉の豊かな表現をすること、(話を聞く、発音すること)◆様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを培うこと。</p>							
<p>子どもへの保育目標</p>		<p>6か月～1歳未満</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の生活リズムを把握 ●身近な人との信頼関係を育み、人間の発達に合った全身運動が十分にできるようにする。 ●情緒的な不安を解消する。 ●一人一人の生活リズムが整うよう配慮する。 ●一人一人の生活リズムを把握 ●身近な人との信頼関係を育み、人間の発達に合った全身運動が十分にできるようにする。 ●情緒的な不安を解消する。 ●一人一人の生活リズムが整うよう配慮する。 		<p>1歳～2歳未満</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人権に配慮しながら、ひとり一人の発達に合った全身運動が十分にできるようにする。 ●情緒的な不安を解消する。 ●一人一人の生活リズムを把握 ●身近な人との信頼関係を育み、人間の発達に合った全身運動が十分にできるようにする。 ●情緒的な不安を解消する。 ●一人一人の生活リズムが整うよう配慮する。 		<p>2歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保育者との信頼関係を育み、ひとりで遊ぶことができるようになる。 ●様々な表現し、情緒的、運動的、身体的な発達を促す。 ●基本的な生活習慣を身に付け、主体的に遊ぶことや生活を楽しむ。 ●保育者や友達と遊ぶことが楽しくなる。 ●一人一人の生活リズムを把握 ●身近な人との信頼関係を育み、人間の発達に合った全身運動が十分にできるようにする。 ●情緒的な不安を解消する。 ●一人一人の生活リズムが整うよう配慮する。 		<p>3歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●規則的な生活習慣を身に付ける。 ●様々な表現し、情緒的、運動的、身体的な発達を促す。 ●基本的な生活習慣を身に付け、主体的に遊ぶことや生活を楽しむ。 ●保育者や友達と遊ぶことが楽しくなる。 ●一人一人の生活リズムを把握 ●身近な人との信頼関係を育み、人間の発達に合った全身運動が十分にできるようにする。 ●情緒的な不安を解消する。 ●一人一人の生活リズムが整うよう配慮する。 		<p>4歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣を身に付け、主体的に遊ぶことや生活を楽しむ。 ●保育者や友達と遊ぶことが楽しくなる。 ●一人一人の生活リズムを把握 ●身近な人との信頼関係を育み、人間の発達に合った全身運動が十分にできるようにする。 ●情緒的な不安を解消する。 ●一人一人の生活リズムが整うよう配慮する。 		<p>5歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々な経験を通して、道徳感を味わい、自己決定感を養い、社会に適切に行動できるようにする。 ●心身の健康を高め、自ら進んで行動できるようにする。 ●一人一人の生活リズムを把握 ●身近な人との信頼関係を育み、人間の発達に合った全身運動が十分にできるようにする。 ●情緒的な不安を解消する。 ●一人一人の生活リズムが整うよう配慮する。 	
<p>養育</p>		<p>●甘えや要求を十分受け止めて、安心して遊ぶ保育者のかかわりの中で安心して遊ぶ。</p> <p>●機嫌よく過ごすように、授乳、排泄、睡眠をおこなう。</p> <p>●特定の保育士との関わりにより信頼関係が生まれるようにする。</p>		<p>●甘えや要求を十分受け止めて、安心して遊ぶ保育者のかかわりの中で安心して遊ぶ。</p> <p>●機嫌よく過ごすように、授乳、排泄、睡眠をおこなう。</p> <p>●特定の保育士との関わりにより信頼関係が生まれるようにする。</p>		<p>●甘えや要求を十分受け止めて、安心して遊ぶ保育者のかかわりの中で安心して遊ぶ。</p> <p>●機嫌よく過ごすように、授乳、排泄、睡眠をおこなう。</p> <p>●特定の保育士との関わりにより信頼関係が生まれるようにする。</p>		<p>●甘えや要求を十分受け止めて、安心して遊ぶ保育者のかかわりの中で安心して遊ぶ。</p> <p>●機嫌よく過ごすように、授乳、排泄、睡眠をおこなう。</p> <p>●特定の保育士との関わりにより信頼関係が生まれるようにする。</p>					
<p>健康</p>		<p>●安全で清潔な環境の中で健康に過ごす。</p> <p>●特定の大人との応答的関わりの中で、豊かな感情が育まれるようにする。</p>		<p>●安全で清潔な環境の中で健康に過ごす。</p> <p>●特定の大人との応答的関わりの中で、豊かな感情が育まれるようにする。</p>		<p>●安全で清潔な環境の中で健康に過ごす。</p> <p>●特定の大人との応答的関わりの中で、豊かな感情が育まれるようにする。</p>		<p>●安全で清潔な環境の中で健康に過ごす。</p> <p>●特定の大人との応答的関わりの中で、豊かな感情が育まれるようにする。</p>					
<p>人間関係</p>		<p>●安心できる人的及び物的環境の中で遊ぶ。</p> <p>●信頼し、指差し、身ぶりで思いを伝え、協力し、指差し、身ぶりで思いを伝える。</p> <p>●顔がかけられることにより声を出した対応できるようにする。</p>		<p>●安心できる人的及び物的環境の中で遊ぶ。</p> <p>●信頼し、指差し、身ぶりで思いを伝え、協力し、指差し、身ぶりで思いを伝える。</p> <p>●顔がかけられることにより声を出した対応できるようにする。</p>		<p>●安心できる人的及び物的環境の中で遊ぶ。</p> <p>●信頼し、指差し、身ぶりで思いを伝え、協力し、指差し、身ぶりで思いを伝える。</p> <p>●顔がかけられることにより声を出した対応できるようにする。</p>		<p>●安心できる人的及び物的環境の中で遊ぶ。</p> <p>●信頼し、指差し、身ぶりで思いを伝え、協力し、指差し、身ぶりで思いを伝える。</p> <p>●顔がかけられることにより声を出した対応できるようにする。</p>					
<p>環境</p>		<p>●好きな玩具や遊具に興味を持って遊ぶ。</p> <p>●自分から遊びたいことを表現し、協力し、指差し、身ぶりで思いを伝える。</p>		<p>●好きな玩具や遊具に興味を持って遊ぶ。</p> <p>●自分から遊びたいことを表現し、協力し、指差し、身ぶりで思いを伝える。</p>		<p>●好きな玩具や遊具に興味を持って遊ぶ。</p> <p>●自分から遊びたいことを表現し、協力し、指差し、身ぶりで思いを伝える。</p>		<p>●好きな玩具や遊具に興味を持って遊ぶ。</p> <p>●自分から遊びたいことを表現し、協力し、指差し、身ぶりで思いを伝える。</p>					
<p>言葉</p>		<p>●顔がかけられることにより声を出した対応できるようにする。</p> <p>●感情豊かな関わりが深くなり、声や身体の変化や身体での動きなどで自分の気持ちを伝える。</p>		<p>●顔がかけられることにより声を出した対応できるようにする。</p> <p>●感情豊かな関わりが深くなり、声や身体の変化や身体での動きなどで自分の気持ちを伝える。</p>		<p>●顔がかけられることにより声を出した対応できるようにする。</p> <p>●感情豊かな関わりが深くなり、声や身体の変化や身体での動きなどで自分の気持ちを伝える。</p>		<p>●顔がかけられることにより声を出した対応できるようにする。</p> <p>●感情豊かな関わりが深くなり、声や身体の変化や身体での動きなどで自分の気持ちを伝える。</p>					
<p>表現</p>		<p>●安心した人との関わりの中で、乳を飲みたい気持ちを伝える。</p>		<p>●安心した人との関わりの中で、乳を飲みたい気持ちを伝える。</p>		<p>●安心した人との関わりの中で、乳を飲みたい気持ちを伝える。</p>		<p>●安心した人との関わりの中で、乳を飲みたい気持ちを伝える。</p>					
<p>食育</p>		<p>●健康状態、栄養摂取量の定期的、継続的な把握</p> <p>●健康診断(年2回)、歯科検診(年2回)、眼科検診(年2回)、聴覚検査(年2回)の実施</p> <p>●子育て相談の実施</p> <p>●保護者面談の実施</p> <p>●連絡メールによる感染症情報、情報の配信</p> <p>●専門機関との連携</p> <p>●個別援助計画</p> <p>●職員の資質向上への取り組み</p> <p>●園内研修会の実施</p> <p>●関係機関主催研修会の参加</p> <p>●健康、安全情報の共有</p> <p>●交流会の参加</p> <p>●就学前児童保育要員の送り</p>		<p>●健康状態、栄養摂取量の定期的、継続的な把握</p> <p>●健康診断(年2回)、歯科検診(年2回)、眼科検診(年2回)、聴覚検査(年2回)の実施</p> <p>●子育て相談の実施</p> <p>●保護者面談の実施</p> <p>●連絡メールによる感染症情報、情報の配信</p> <p>●専門機関との連携</p> <p>●個別援助計画</p> <p>●職員の資質向上への取り組み</p> <p>●園内研修会の実施</p> <p>●関係機関主催研修会の参加</p> <p>●健康、安全情報の共有</p> <p>●交流会の参加</p> <p>●就学前児童保育要員の送り</p>		<p>●健康状態、栄養摂取量の定期的、継続的な把握</p> <p>●健康診断(年2回)、歯科検診(年2回)、眼科検診(年2回)、聴覚検査(年2回)の実施</p> <p>●子育て相談の実施</p> <p>●保護者面談の実施</p> <p>●連絡メールによる感染症情報、情報の配信</p> <p>●専門機関との連携</p> <p>●個別援助計画</p> <p>●職員の資質向上への取り組み</p> <p>●園内研修会の実施</p> <p>●関係機関主催研修会の参加</p> <p>●健康、安全情報の共有</p> <p>●交流会の参加</p> <p>●就学前児童保育要員の送り</p>		<p>●健康状態、栄養摂取量の定期的、継続的な把握</p> <p>●健康診断(年2回)、歯科検診(年2回)、眼科検診(年2回)、聴覚検査(年2回)の実施</p> <p>●子育て相談の実施</p> <p>●保護者面談の実施</p> <p>●連絡メールによる感染症情報、情報の配信</p> <p>●専門機関との連携</p> <p>●個別援助計画</p> <p>●職員の資質向上への取り組み</p> <p>●園内研修会の実施</p> <p>●関係機関主催研修会の参加</p> <p>●健康、安全情報の共有</p> <p>●交流会の参加</p> <p>●就学前児童保育要員の送り</p>					

2023年度 避難訓練年間指導計画

大友中央保育園

年間目標

- ・災害時、子どもの生命を第一とし、安全な場所に避難誘導する。
- ・訓練を繰り返し行い被害を最小限にとどめる。

<ねらい> ○生命の大切さを知る。 ○いろいろな避難方法を知る。

月	訓練の種類	内 容	保育者の配慮
4月	避難訓練の話 を聞く	・避難訓練について知る。 ・非常時の合図を知る。 ・「おかしも」の約束を知る。押さない、 かけない、しゃべらない、もどらない	・紙芝居、絵本等を使い、恐怖心を持たせないようにする。 ・役割分担、未満児の避難についての協力体制の確認。0、1歳児窓からの 搬出模擬訓練 ・避難経路、避難用具の確認
5月	火事(ボイラー 室)	・速やかに集合し、保育者の指示に従 う。(あそか苑園舎前)	・慌てず静かに指示を聞くようにする。 ・保育者の指示に従って、スムーズに避難できるように誘導する。 ・避難後速やかに点呼確認し、逃げ遅れた子どもがいないか確認する。
6月	地震	・地震の避難方法を知る。 ・保育者の指示をよく聞き、机の下等安 全な所で揺れのおさまるのを待つ。 ・防災用ヘルメットの着用方法を知る。	・落下物等でけがをしないように安全な所に身を寄せる。 ・恐怖心を持たせないように揺れがおさまるまで動かないように話す。 ・保護者への連絡体制の確認をする。
7月	水害	・水害・水の事故などについて知る。	・気象情報に注意を払い、早めに安全な場所に避難をする。
8月	火事(給食室よ り出火)	・給食室より出火を想定して、非常口よ り園舎前に集合	・煙の怖さを知らせ、吸わないようにする。 ・点呼をとったクラスから交通事故に気を付けて避難する。 ・日常から迅速に安全に行動できるように心がける。
9月	地震(自由遊び 中)	・安全な場所で揺れのおさまるのを待 ち、担任以外の保育者の指示に従い行 動する。	・担任にかかわらず、近くにいる保育者のところに集まることを徹底する。
10月	火事	・速やかに集合し、保育者の指示に従 う。(給食室)	・煙の怖さを知らせ、吸わないようにする。 ・点呼をとったクラスから交通事故に気を付けて避難する。 ・日常から迅速に安全に行動できるように心がける。
11月	地震	・保育者の指示をよく聞き、机の下等安 全な所で揺れのおさまるのを待つ。	・出口での混乱に気を付ける。 ・靴の履けない子は援助し、持って出たからはくなどの工夫をする。
12月	火事(自由遊び 中)	・隣家より出火を想定して、非常口よ り園舎前に避難する。	・担任にかかわらず、近くにいる保育者のところに集まることを徹底する。
1月	地震	・安全な所で揺れがおさまるのを待つ。 ・保育者の指示に従い行動する。	・出口での混乱に気を付ける。 ・コートを手を持ち、すぐに集合する。 ・非常口を除雪し、避難経路を確保する。 ・雪で歩道が狭くなっているため、安全に留意して避難する。
2月	火事(近所の民 家にて火災発 生)	・速やかにお遊戯室に集合し、保育者 の指示に従う。 ・落ち着いて整列する。	・出口での混乱に気を付ける。 ・コートを手を持ち、すぐに集合する。 ・非常口を除雪し、避難経路を確保する。 ・雪で歩道が狭くなっているため、安全に留意して避難する。
3月	火事(午睡中)	・午睡中における避難を徹底する。	・目覚めの悪い子や掛布団等で子どもの姿が見えにくくなっていること等か ら、人数確認や避難方法の確認をする。

令和5年度 防災計画

役割分担表

大震災時の役割

伊南明子園長	○統率 ○指揮・命令 ○区役所へ報告
田辺和美主任保育士	○園長の補佐 ○園児・園舎の状況把握 ○貴重品の確保 ○避難先の掲示 ○ガスの元栓を閉める ○電気のブレーカーを落とす ○応急手当
吉倉清美保育士	○クラスの数確認 ○避難誘導 ○応急手当
鈴木由衣保育士	○クラスの数確認 ○避難誘導 ○応急手当
近嵐宏美保育士	○クラスの数確認 ○避難誘導 ○応急手当
石田麻美保育士	○クラスの数確認 ○避難誘導 ○応急手当
田口智子保育士	○クラスの数確認 ○避難誘導 ○応急手当
鈴木朋子調理員	○ガスの元栓を閉める ○電気のブレーカーを落とす ○飲料水、ミルク等非常食の確保
その他職員	○クラス担任の補佐

軽微な地震時の役割

伊南明子園長	○被害状況の確認 ○区役所への報告(優先順位1番)
田辺和美主任保育士	○被害状況の確認 ○区役所への報告(優先順位2番)

※上記表は、毎年作成し各区指導保育士へ提出する。(提出期限4月末日。)

※園内に掲示し、職員へ周知徹底する。

職種	役割の内容
園長	<p>□直ちに園全体の状況把握に努めるとともに、テレビ、ラジオ等より情報を収集し、的確な指示を職員に与える。</p> <p>□区役所に被災の状況、園児の状況、園児数などを報告する。なお、電話が不通となり全市的な被害が発生している場合は、まず園児の安全確保を優先し、報告は防災無線等により落ち着いてから行う。</p> <p>□テレビ、ラジオ及び主任保育士などの報告をもとに敷地外へ避難が必要と判断した場合には速やかに指示する。</p> <p>□避難の際は、ガス、電気の元栓。貴重品や食料。職員数と園児数などの最終チェックを行う。</p> <p>※市防災無線の主な設置場所 ⇨ 小中学校などの避難所、区役所、出張所、ライフライン関係機関、消防、警察等。</p>
主任保育士	<p>□園児の安全及び職員の対応について把握するとともに園舎の被害状況を確認するため、園内の巡視を行い、速やかに園長へ報告する。</p> <p>□避難する際は、登降園簿、非常持出用品(普段から決めておくこと)、緊急連絡カードなどの貴重品を持つ。飲料水、食料などを確認する。</p> <p>□園長が不在の場合にあっては、園長の職務を代行する。</p>
担任保育士	<p>□安全な場所に園児を避難させる。</p> <p>□園児の点呼、けがの有無などを確認し、併せて火の始末、施設の破損(ガラスの破損など)についても主任保育士に報告する。</p> <p>□事前に主任保育士が不在の場合の代行役を決めておく。</p>
給食調理員	<p>□調理室のガス器具のスイッチと元栓を閉める。</p> <p>□飲料水、非常用食料の確認をし、避難する際は持ち出す。</p> <p>□調理設備の状況、飲料水や食料の状況などを主任保育士に報告する。</p> <p>□避難時には、保育士とともに園児の安全確保に努める。</p>

職員参集				
	班割	職員名	参集場所	役割
第1班	責任者	伊南明子(園長) 田辺和美(主任保育)	保育園、本部	被害状況確認
第2班	1 k m圏内居住者	吉倉清美(保育士)	保育園、本部	連絡補助
第3班	5 k m圏内居住者	阿部絵理香(保育士) 鈴木由衣(保育士) 明間杏奈(保育士) 鈴木朋子(調理員)	保育園、本部	避難所設置、 災害本部設置
第4班	1 0 k m圏内居住者	田口智子(保育士) 近嵐宏美(保育士)	指示による	
第5班	圏外居住者	鈴木美貴(保育士) 石田麻美(保育士) 片桐茜(保育士) 佐藤いずみ(調理員)	指示による	

不審者対応防犯訓練年間指導計画

年間目標

- 園舎の安全管理に常に配慮し、外部からの侵入者の侵入を防ぐ。
- 被害発生時に混乱することなく、スムーズに避難できるように、入所児童を含めての避難訓練を反復して行う。

<ねらい>

- ・不審者に近づかないことを知る。
- ・身を守る方法を知る。
- ・全職員は子どもを守るために状況に応じた適切な行動がとれるよう訓練を行う。

月	訓練の種類	内 容	保育者の配慮
4月	職員で対応マニュアルを確認する。	不審者対応マニュアルを確認する。	散歩の場所や通行経路の安全について検討を行い、周知する。
5月	安心、安全について知る。	子ども自身が安全、安心について考える。「いかのおすし」を知る。行かない、乗らない、大声を出す、すぐ逃げる、知らせる	お話や紙芝居を通して、安心、安全について知らせる。
6月	不審者侵入	玄関より侵入したことを想定し、子どもの安全を確保しながらマニュアルに沿って避難する。	子どもたちに不安を持たせないように配慮する。
7月	いろいろな場合の不審者侵入対応について確認しあう	ベランダ・非常口等の侵入に対しての子どもの安全確保について確認しあう。	具体的な想定について話し合い適切な行動がとれるようにする。
8月	プール遊びでの不審者目撃	プール遊びでの不審者対応を行う。	子どもたちに不安を持たせないように配慮する。 施設管理や防犯対策の徹底
9月	散歩時、不審者と遭遇	保育者の指示に従い迅速に行動する。	不審者対応と子どもの安全確保に努める。 職員の役割分担を臨機応変に行う。 園外に行くときは、携帯電話・警報ベル等を持参する。
10月	不審者侵入	ベランダより侵入したことを想定し、子どもの安全確保しながらマニュアルに沿って避難する。	子どもたちに不安を持たせず移動させる。
11月	不審者侵入	お遊戯室非常口より侵入したことを想定し、子どもの安全確保しながらマニュアルに沿って避難する。	子どもたちに不安を持たせず移動させる。
12月	誘拐や連れ去り	様々な場面を想定して子どもたちと共に考えながら知らない人に声をかけられたらどうするかを考える。	紙芝居やペープサートを使って、お話の中のこととして不安を持たせないように配慮する。
1月	職員に対する指導と訓練	防犯を意識した日ごろからの対応 不審者への対処法 安否確認と関係者関係機関への連絡 緊急連絡の要領	安全管理について職員間の意識を高める。
2月	安心安全について再確認する。	「いかのおすし」を再確認する。 行かない、乗らない、大声を出す、すぐ逃げる、知らせる。	特に、年長児は就学を控えひとりで行動する機会が増えるため、安心安全の理解を深める。
3月	対応マニュアルについて検討	今年度の取り組みについて反省評価をする。	不審者対応について問題点がないか話し合い、次年度につなげていけるようにする。

体力作り年間計画

施設名 大友中央保育園

2023年度

四季折々の自然の中で体を使って遊んだり、散歩をして体力をつける。
 園目標： いろいろな遊具や用具を使って、運動遊びを楽しむ。

年齢	ねらい	活動内容	環境構成及び配慮
0歳児	<ul style="list-style-type: none"> 保育者とふれあい遊びを通してそれぞれの月齢と発達に合った体を使った遊びを楽しむ。 体調の変化に気を配りながら、お散歩などで自然を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃを使って、隠返りや覆い被せの遊びを誘ったり、はいはいを促したりする。 保育者と触れ合いながら全身の動きを誘う。 公園や近所を歩いたりカートに乗って散歩を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃは口に入れたりするので、常に清潔に保つ。 愛情に満ちた接し方で情緒の安定を図りながら自然な形で体を使った遊びに誘う。 気候や一人一人の体調に配慮し健康で気持ちよく過ごせるようにする。
1歳児	<ul style="list-style-type: none"> 公園や散歩など戸外で遊ぶ時間を多く持ち気持ちよく過ごす。 保育者や友達と一緒に体を動かす遊びを楽しむ。 音楽や歌に合わせて体を動かして楽しむ。 食事、排泄、睡眠などの生活リズムを整えて一日を機嫌よく快適に過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と手を握らないで歩いたり、カートに乗って出かけた公園の遊具で遊ぶ。 誘導ロープにつかまったり歩く。 音楽に合わせて体操や踊りをする。 マットなどを利用して、上がる、滑る、転がる、跳ぶなどの全身運動を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ひとひとりの発達段階を把握して援助の仕方を工夫する。(一人で歩く、手を引く、誘導ロープに押まる、カートに乗せるなど) 前後の距離をとり、つまづいたりぶつかったりしないようにする。 個々の好みなども考慮し、一緒に楽しめるものを身につけて無理なくできるように配慮する。 子どもの興味や発想を大切にしながら、いろいろな動きを一緒に楽しめようとして楽しく遊ぶように誘導していく。 家族との連絡を密にして体調を把握し、快適に過ごせるようにする。
2歳児	<ul style="list-style-type: none"> 友達や保育者と一緒に全身を使った遊びを楽しむ。 体を使ったリズム遊びを楽しむ。 自然に触れて遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使った遊びを楽しむ。 戸外遊びや散歩を楽しむ。 公園の遊具などで遊ぶ。 簡単な曲や体操に合わせて体を動かして遊ぶ。 季節の遊びを楽しむ。(どろんこ、水遊び、落ち葉や木の葉ひろい、雪遊び) こっこ遊びや簡単な集団遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の健康状態を把握して楽しく遊びが展開できるように環境を整える。 いろいろな運動遊びに挑戦しようとする気持ちを大切にしながら安全に遊べるように十分に配慮する。 散歩は一人一人の歩くペースを考慮し、無理のないように行う。 公園の遊具の使い方を知らせるほかに安全に遊べるように配慮する。 簡単なルールを取り入れ分け合いかけっこをしたり、繰り返しのある集団遊びを取り入れ楽しめるようにする。
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> 遊具・用具を組み合わせて、全身を使って遊ぶ。 戸外で思いっきり体を動かして遊ぶ。 友達や園外保育者など自然に触れて遊ぶ。 友達や保育者とゲームやリズム遊びを楽しむ。 簡単なルールのある鬼ごっこやゲームを楽しむ。 サッカー教室でボールを使って運動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の遊具や砂場の安全な使い方を教えて遊ぶ。 戸外遊びや散歩、園外保育を楽しむ。 簡単なゲームやリズム遊びを楽しむ。 季節の遊びを楽しむ。 どろんこ、フール、木の葉や落ち葉拾い、雪遊び、正月遊びなど) こっこ遊びや簡単な集団遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊びが展開するように遊具や玩具の安全に配慮する。 日々の遊びの中で無理なく取り入れていく。 一人一人の興味や個性、自分から表現しようとする気持ちが育つように配慮する。 それぞれの季節を気持ちよく快適に過ごせるような環境の整備と工夫をする。
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達と一緒に戸外遊びや散歩を楽しむ。 友達と一緒に全身を使って運動遊びを楽しむ。 ゲームやリズム遊びを楽しむ。 ルールのある遊びを楽しむ。 サッカー教室でボールを使って運動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の遊具を安全に使う遊び 友達と散歩や簡単なゲームのかけっこ、鬼ごっこ、サッカーなどを楽しむ。 マット運動や鉄棒、ポール、縄跳び、跳び箱などの遊具を使って遊ぶ。 いろいろな曲に合わせて踊ったり、表現したりする。 季節の遊びを楽しむ。(どろんこ、フール、木の葉や落ち葉拾い、雪遊び、正月遊びなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自分から遊びに取り組みめるように環境を構成し、ひとりの遊びや気持ちの變化を把握して必要に応じて環境を変化させる。 様々な運動遊びに意欲的に取り組めるように適切な介助や言葉かけをする。 個々のペースを大切にしながら友達や保護者を認めて自信へとつなげていく。 公園のペースを大切にしながら友達や保護者を認めて自信へとつなげていく。 保育者と一緒に素遊びを楽しむがら体を動かす楽しさを共有する。 運動しやすい時期を逃さず、戸外でのびのびと体を動かす、運動機能を高めるような遊びを工夫する。 いろいろな遊びが十分楽しめるように遊具を用意するとともに遊びの場を整えていく。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 構造的に戸外遊びを楽しむ。 公園遊び、散歩を楽しむ。 リズム遊びや様々な運動遊びを楽しむ。 ルールを理解して友達と運動遊びを楽しむ。 用具を使った遊びを楽しむ。 サッカーの簡単なルールを理解して楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 鬼ごっこなどのルールのある遊びを楽しむ。 様々な用具や遊具を使い、身体を思いきり動かして遊ぶ。(跳び箱、鉄棒、縄跳び、マット、ポール、サッカー) 季節の遊びを楽しむ。(どろんこ、フール、木の葉や落ち葉拾い、雪遊び、正月遊びなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 共通のルールを理解して集団での遊び、身体を十分に使った遊びを工夫する。 考えながら(友達と相談しながら)行動する遊びの提案をする。 大好きな曲に合わせて真実、並ぶ、跳びなど機嫌遊びを繰り返したり、簡単なルールのある遊びをする。 楽しく運動体験を重ねるよう工夫する。 遊びの中に体力、リズム感、空間認知能力等を取り入れる工夫をする。

2023 年度 年間保健計画 大友中央保育園

目標	◎心身共に健やかな体をつくる ・明るくのびのびと行動し、充実感を持って生活する。 ・いろいろな遊びを通して体を動かす楽しさを知り、進んで運動する。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。											
ねらい	2か月以上	・一人一人に合った生活リズムの中で、心身ともに健康に過ごす。食事、排泄、睡眠等、手伝ってもらいながら生活のリズムを整える。・寝返り、はいはい等の運動を十分にさせる。										
	1歳未満	・手洗い習慣を身につける。・排泄の習慣を身につける。・体を動かし、十分に遊ぶ。										
	3歳未満	・食事前、排泄後の手洗い、食後の歯磨きの習慣を身につける。・健康、安全に必要な習慣や態度を身につける。友達と一緒に体を動かして遊ぶ。										
目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体の留意点	・生活リズムを整え新しい環境に慣れる。 ・咳エチケットを知る。 ・感染症の早期発見に努め、予防対策をとる。 ・食中毒に注意する(手洗い、食事への注意) ・保育室の環境整備を行う(通風、換気、採光) ・虫歯予防とフッ素塗布指導を行う ・手洗いがいかに習慣づける。 ・水分を十分補う。 ・健康状態を把握して、安全な水あそびへの配慮を行う。 ・食欲不振による体調不良に注意する。 ・高温多湿による疲労や不眠の緩和に努める。 ・皮膚の清潔に努める(沐浴) ・戸外遊びを楽しみ、体力増進をはかる。											
保健行事	◎内科健診・尿検査(4、5歳児) ◎視力検査 ◎内科健診 ◎歯科検診 ◎身体測定 ◎フッ素洗口											
保護者との連携	・子どもの家庭での生活実態、健康状態、既往症や予防接種履歴等について情報提供してもらうようにする。 ・日々の健康状況、健康診断結果および予防などを伝え、健康への理解を深めるように働きかける。 ・保護者の理解と協力を得ながら、家庭と保育園の生活リズムがよく整えられるように配慮し、健康増進の大切さについて伝える。 ・保育園の食育に関する活動について、家庭に情報を提供し、子どもの食生活に関する相談に応じたり、助言、支援を行う。 ・視力測定を通じて目の健康を知らせる。											
環境整備	・保育室の温度、湿度、換気に留意する。 ・備品、玩具、園内外の整備など、安全点検を行う。 ・けがの予防に努め、戸外で全身運動をして、休息をとり、心身の疲れが癒されるようにする。 ・手洗い、消毒の徹底、園内や玩具の消毒を行う。											

交通安全年間指導計画

施設名 大友中央保育園

目 標	<p>○交通事故から幼児の生命を守る。</p>	ね ら い	<p>○生命の尊さ、大切さを知らせる。 ○基本的な交通の決まりを知らせ、進んで守るようになる。 ○安全に行動ができるよう、習慣や態度を身につける。</p>
期	1期	3期	4期
内 容	<p>○正しい道路の歩き方 ・右側を歩く ・歩道、路側帯を歩く。 ○道路の正しい渡り方 ・横断歩道を渡る ・信号の意味を理解し守る。 ・左右の安全を確認する。 ○飛び出しをしない ・一旦止まることを身につける。 ○乗り物の正しい乗り方 ・道路には飛び出さない。 ・安全な乗り降りの仕方を知る。 ・チャイルドシートを着用する。 ○送迎バスに方が一取り残されたことを想定して、クラクションを鳴らす等の訓練をする。</p>	<p>○危険な場所を知る。 ・身近な標識、標示を知る。 ・危険と安全の違いを知る。 ○基本的な交通の決まりを守り、安全な行動をする。 ・日常生活に必要な交通の決まりを知る。 ・車のマナーを知る。 ・車内でのマナーの再確認。 ・降車時の危険を知る。 ○生命の大切さを知る。 ・生命の大切さがわかる。 ・生命のあるものに愛情を持つ。 ・生命の大切さを守る。 ・他人に思いやりの心を持つ。 ・すすんで生命を守る。</p>	<p>○寒い日の安全な歩き方を身につける。 ・冬の道路はすべりやすく、歩きにくいので危険であることを知る。 ・防寒をしているときの危険を知る。 ○交通安全の大切なことを再認識する。 ○生命の大切さがわかり、安全は自分で守らなければならないことを知り、守るようになる。 ○生命を守ってくれる人に感謝の気持ちを持つ。 ○就学後登下校を安全に行う方法を学ぶ。 ・標識を知り、意味を理解する。 ・信号の意味を確認する。</p>
保 育 士 の 配 慮	<p>・右側通行、道路の渡り方、乗り物マナーなど、様々な場面で繰り返し体得できるよう指導する。 ・日ごろの保育の中で、情緒の安定を図り、落ち着いた行動がとれるように心がける。 ・子どもの特性や個人差、発達、年齢差など考慮して無理のない方法で身につくようにする。 ・保護者への協力を依頼する。交通安全について手紙を配布する。 ・登降園の折に車や自転車などを利用している場合は、特に飛び出しの危険性など安全に留意してもらう。 ・チャイルドシートの着用 ・家庭でも正しい交通ルールを身につけられるよう大人が手本を示す。</p>	<p>○歩、園外保育での場面を用いて興味や関心を引き出し、身近な大切なことという感じられるようにする。 ・紙芝居やペーパーサートなどを用いて、わかりやすく説明する。ただ伝えるだけで終わらないように問いかけなどを行う。 ・単なる知識だけでなく、登降園、散歩などその場に応じた適切な体験指導を繰り返し行う。 ・日常の楽しい遊びを通して自然に機敏性、判断力など安全への意識を高め、安全能力が身につくようになる。 ・生命の大切なことをわかりやすく教えるとともに、生命を守る心を育てるようになる。</p>	<p>・冬場の危険箇所、安全な通行方法、交通ルールなど具体的な指導する。 ・年間の指導を振り返り、その成果を確かめ、不十分などところを留意し指導する。 ・保護者や地域の人の協力によって、事故から守られていることを知らせる。 ・小学校入学に向けて、学校までの道を一緒に歩き危険なところを話し合ってもらおう。</p>